

授業科目 基礎看護技術演習Ⅰ

【担当教員】		対象学年	1	対象学科	看護
阿部 明美 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【概要・一般目標：G10】 人々の健康を促進するために必要な看護実践の基礎となる知識・技術・態度を修得する。看護を必要としている人々の特徴と援助の意義および具体的な実践方法を、理論的根拠を踏まえて学習する。その上で、実際に技術演習を行い、より専門的な看護技術の基盤となる基礎的な看護技術の修得を目指す。基礎看護技術演習Ⅰでは、日常生活の援助技術を中心に学習する。					
【学習目標】 1. 看護技術の考え方について説明できる。 2. ガイダンスを通して、基本的な演習への臨み方・実習室の使用方法について説明できる。 3. 看護を必要とする人々の特徴が述べられる。 4. それぞれの看護技術の効果と適用が述べられる。 5. それぞれの看護技術の原理原則および実施手順・留意点が述べられる。 6. 看護技術実施時の倫理的配慮について述べられる。 7. 原理原則をふまえ、安全安楽・倫理的配慮を考慮した援助が実施できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 看護技術とは、演習ガイダンス(1)			1, 2	講義
2	1. 看護技術とは、演習ガイダンス(2)			1, 2	講義
3	2. 生活環境に関する看護技術(1)			1～6	講義
4	2. 生活環境に関する看護技術(2)			1～6	講義
5	3. 活動・休息に関する看護技術(1)			1～6	講義
6	3. 活動・休息に関する看護技術(2)			1～6	講義
7	4. 清潔・衣生活に関する看護技術(1)			1～6	講義
8	4. 清潔・衣生活に関する看護技術(2)			1～6	講義
9	5. 食事に関する看護技術			1～6	講義
10	6. 排泄に関する看護技術(1)			1～6	講義
11	6. 排泄に関する看護技術(2)			1～6	講義
12	7. 安楽に関する看護技術			1～6	講義
13	<演習>ボディメカニクス、臥床患者のシーツ交換(1)			1～7	演習
14	<演習>ボディメカニクス、臥床患者のシーツ交換(2)			1～7	演習
15	<演習>体位変換、移送(車椅子移送、ストレッチャー移送)(1)			1～7	演習
16	<演習>体位変換、移送(車椅子移送、ストレッチャー移送)(2)			1～7	演習
17	<演習>寝衣交換			1～7	演習
18	<演習>全身清拭(1)			1～7	演習
19	<演習>全身清拭(2)			1～7	演習
20	<演習>洗髪(1)			1～7	演習
21	<演習>洗髪(2)			1～7	演習
22	<演習>陰部洗浄、足浴(1)			1～7	演習
23	<演習>陰部洗浄、足浴(2)			1～7	演習
24	<演習>食事介助(1)			1～7	演習
25	<演習>食事介助(2)			1～7	演習
26	<演習>便・尿器の使い方、洗腸(1)			1～7	演習
27	<演習>便・尿器の使い方、洗腸(2)			1～7	演習
28	<演習>電法			1～7	演習
29	《技術試験》(1)				(演習は基礎看護学全教員が担当)
30	《技術試験》(2)				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎看護学(2)基礎看護技術Ⅰ		系統看護学講座	藤崎郁	医学書院 2010・2,600円＋税
	基礎看護学(3)基礎看護技術Ⅱ		系統看護学講座	藤崎郁	医学書院 2010・2,900円＋税
参考書	随時提示する。				
その他の資料	ビデオ プリント類				
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席状況・演習レポート(10%)			1. 演習への参加は必須であり、積極的に取り組むこと。		
筆記試験(90%)			2. ビデオその他の副教材も活用し、繰り返し演習することが望ましい。		
※技術試験を別に実施。技術試験に合格することを単位履修の前提とする。					